



仮想データセンターの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [仮想データセンターの管理について, 1 ページ](#)
- [VDC アクション, 2 ページ](#)
- [仮想データセンター サービス プロファイル, 14 ページ](#)

仮想データセンターの管理について

仮想データセンター (VDC) は、仮想リソース、動作の詳細、ルール、およびポリシーを組み合わせて特定のグループの要件を管理する環境です。

1 つのグループまたは組織で複数の VDC、イメージ、テンプレート、およびポリシーを管理できます。組織は個々のグループに VDC レベルでクォータを割り当て、リソース制限を割り当てることができます。

また、VDC に固有の承認者を定義できます。VDC の承認者は、ユーザからの VM プロビジョニングの要求を承認する必要があります。



(注) Cisco UCS Director にはデフォルトの VDC があり、検出されたすべての VM は、このデフォルト VDC の一部です。検出された VM は Cisco UCS Director の外部で作成された VM か、または Cisco UCS Director がインストールされる前に vCenter ですすでに作成されていた VM です。Cisco UCS Director はこのような VM を自動的に検出し、デフォルト VDC に追加します。

サービス要求を使用してプロビジョニングされた VM は VDC に関連付けることができます。サービス要求を作成するとき、この VM をプロビジョニングする VDC を選択できます。VM のプロビジョニング時には、特定のグループで利用可能な VDC のリストを表示し、必要な VDC を選択できます。

VDC アクション

仮想データセンターの追加

手順

- ステップ 1** メニュー バーで、[ポリシー]>[仮想/ハイパーバイザポリシー]>[仮想データセンター] を選択します。
- ステップ 2** [VDC] タブを選択します。
- ステップ 3** [追加] (+) をクリックします。
- ステップ 4** [VDC の追加] ダイアログ ボックスで、ドロップダウン リストからアカウント タイプを選択します。
選択したアカウントタイプによって、[VDC の追加] ダイアログ ボックスに表示されるクラウド名のリストが決定されます。
- ステップ 5** [送信] をクリックします。
- ステップ 6** [VDCの追加] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[VDC名] フィールド	VDC の名前。 名前は、入力した後では編集できません。
[ロック済みのvDC] チェックボックス	今後の導入で VDC を使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。この VDC 内の既存の VM に対するアクションは無効になります。今後の導入で VDC を使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[vDCの説明] フィールド	VDC に固有の説明。
[顧客組織 (Customer Organizations)] ドロップダウンリスト	[選択 (Select)] をクリックして、VDC がセットアップされているグループを選択します。
[顧客組織の追加 (Add Customer Organization)] ボタン	新しい顧客組織を追加するには、このボタンをクリックします。
[クラウド名] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。 このドロップダウン リストに表示されるオプションは、指定したアカウントタイプによって決定されます。

名称	説明
承認者と連絡先	
[第1レベル承認者 (First Level Approver(s))] フィールド	第1レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2レベル承認者 (Second Level Approver(s))] フィールド	第2レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービスリクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービスリクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。この VDC を使用した VM のプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー] フィールド	この VDC に関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メール。
ポリシー	
[システムポリシー] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるシステム ポリシーを選択します。

名称	説明
[コンピューティングポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるコンピューティングポリシーを選択します。
[ネットワークポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるネットワークポリシーを選択します。
[ストレージポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるストレージポリシーを選択します。
[ISOイメージマッピングポリシー (ISO Image Mapping Policy)] ドロップダウンリスト	VDCに適用するISOイメージのマッピングポリシーを選択します。
[コストモデル] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるコストモデルを選択します。
[サービスリクエストサマリーと電子メールページへのコストの表示を無効化] チェックボックス	このVDCのSRサマリーと電子メールページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー] ドロップダウンリスト	VMのプロビジョニング後のオーケストレーションワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。選択されたワークフローは、VDC内のVMに対するアクションボタンとして表示されます。
[ストレージの効率性の有効化] チェックボックス	RCUを使用してVMを複製する場合は、チェックボックスをオンにします。 このオプションを使用できるのは一部のvDCタイプのみです。
[非アクティブなVMを削除するまでの期間] ドロップダウンリスト	非アクティブなVMを削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態のVMとは、電源がオンの状態ではないVMです。 (注) この選択項目が想定どおりに機能するためには、[管理]>[システム]で[高度なコントロール]タブの下にある[VDCポリシーに基づいて非アクティブなVMを削除する]チェックボックスがオンになっていることを確認します。詳細については、「高度なコントロールの有効化」を参照してください。

名称	説明
エンドユーザセルフサービスポリシー	<p>vDCのセルフサービスポリシーを選択します。このポリシーによって、VDCで実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、作成するVDCに対応するアカウントタイプに関連するポリシーが表示されません。</p> <p>vDCへのポリシーの割り当ては、ユーザがvDCで実行するタスクを制御できる唯一の方法です。従来のバージョンでは、vDCの作成中にタスクを有効または無効にしていました。最新リリースにアップグレードすると、以前に設定していた権限とオプションがvDCの名前を使用してエンドユーザポリシーとして自動的にグループ化され、vDCに割り当てられます。</p>

ステップ1 [追加] をクリックします。

(注) VMのユーザは、次のタスクを実行できなくなりました。

- VMの移行
- スタックビューの使用
- VMの割り当て

仮想データセンターの表示

手順

ステップ1 メニューバーで、[ポリシー]>[仮想/ハイパーバイザポリシー]>[仮想データセンター]を選択します。

ステップ2 [すべてのユーザグループ]ペインで、表示するVDCが含まれているVDCグループを選択します。

- ステップ3 [VDC] タブを選択します。
- ステップ4 メインの表示ペインで、表示する VDC を選択します。
- ステップ5 [表示] をクリックして、[VDCの詳細] ページを開きます。

仮想データセンターの編集

手順

- ステップ1 メニュー バーで、[ポリシー]>[仮想/ハイパーバイザポリシー]>[仮想データセンター] を選択します。
- ステップ2 [すべてのユーザグループ] ペインで、編集する必要がある VDC グループを選択します。
- ステップ3 [VDC] タブを選択します。
- ステップ4 [編集] をクリックします。
- ステップ5 [vDC の編集] ダイアログボックスで、次のフィールドを編集します。

名称	説明
[VDC名] フィールド	VDC の名前。 名前は、入力した後では編集できません。
[ロック済みのvDC] チェックボックス	今後の導入で VDC を使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。この VDC 内の既存の VM に対するアクションは無効になります。今後の導入で VDC を使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[vDCの説明] フィールド	VDC に固有の説明。
[顧客組織 (Customer Organizations)] ドロップダウンリスト	[選択 (Select)] をクリックして、VDC がセットアップされているグループを選択します。
[顧客組織の追加 (Add Customer Organization)] ボタン	新しい顧客組織を追加するには、このボタンをクリックします。
[クラウド名] ドロップダウンリスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。 このドロップダウンリストに表示されるオプションは、指定したアカウントタイプによって決定されます。

名称	説明
承認者と連絡先	
[第1レベル承認者 (First Level Approver(s))] フィールド	第1レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2レベル承認者 (Second Level Approver(s))] フィールド	第2レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービスリクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービスリクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。この VDC を使用した VM のプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー] フィールド	この VDC に関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メール。
ポリシー	
[システムポリシー] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるシステム ポリシーを選択します。

名称	説明
[コンピューティングポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるコンピューティングポリシーを選択します。
[ネットワークポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるネットワークポリシーを選択します。
[ストレージポリシー] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるストレージポリシーを選択します。
[ISOイメージマッピングポリシー (ISO Image Mapping Policy)] ドロップダウンリスト	VDCに適用するISOイメージのマッピングポリシーを選択します。
[コストモデル] ドロップダウンリスト	VDCに適用できるコストモデルを選択します。
[サービスリクエストサマリーと電子メールページへのコストの表示を無効化] チェックボックス	このVDCのSRサマリーと電子メールページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー] ドロップダウンリスト	VMのプロビジョニング後のオーケストレーションワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。選択されたワークフローは、VDC内のVMに対するアクションボタンとして表示されます。
[ストレージの効率性の有効化] チェックボックス	RCUを使用してVMを複製する場合は、チェックボックスをオンにします。 このオプションを使用できるのは一部のvDCタイプのみです。
[非アクティブなVMを削除するまでの期間] ドロップダウンリスト	非アクティブなVMを削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態のVMとは、電源がオンの状態ではないVMです。 (注) この選択項目が想定どおりに機能するためには、[管理]>[システム]で[高度なコントロール]タブの下にある[VDCポリシーに基づいて非アクティブなVMを削除する]チェックボックスがオンになっていることを確認します。詳細については、「高度なコントロールの有効化」を参照してください。

名称	説明
エンド ユーザ セルフサービス ポリシー	<p>vDCのセルフサービスポリシーを選択します。このポリシーによって、VDCで実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、作成するVDCに対応するアカウントタイプに関連するポリシーが表示されません。</p> <p>vDCへのポリシーの割り当ては、ユーザがvDCで実行するタスクを制御できる唯一の方法です。従来のバージョンでは、vDCの作成中にタスクを有効または無効にしていました。最新リリースにアップグレードすると、以前に設定していた権限とオプションがvDCの名前を使用してエンド ユーザポリシーとして自動的にグループ化され、vDCに割り当てられます。</p>

ステップ 6 [保存] をクリックします。

仮想データセンターの削除

手順

- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー] > [仮想/ハイパーバイザポリシー] > [仮想データセンター] を選択します。
- ステップ 2** [すべてのユーザグループ] ペインで、削除する必要のある VDC グループを選択します。
- ステップ 3** [VDC] タブを選択します。
- ステップ 4** メインの表示ペインで、削除する VDC を選択します。
- ステップ 5** [削除] をクリックします。

仮想データセンターの複製

手順

- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー]>[仮想/ハイパーバイザポリシー]>[仮想データセンター]を選択します。
- ステップ 2** [すべてのユーザグループ] ペインで、複製する必要がある VDC グループを選択します。
- ステップ 3** [VDC] タブを選択します。
- ステップ 4** メインの表示ペインで、複製する VDC を選択します。
- ステップ 5** [複製] をクリックします。
- ステップ 6** [VDCの複製] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[VDC名] フィールド	VDC の名前。 名前は、入力した後では編集できません。
[ロック済みのvDC] チェックボックス	今後の導入で VDC を使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。この VDC 内の既存の VM に対するアクションは無効になります。今後の導入で VDC を使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[vDCの説明] フィールド	VDC に固有の説明。
[顧客組織 (Customer Organizations)] ドロップダウンリスト	[選択 (Select)] をクリックして、VDC がセットアップされているグループを選択します。
[顧客組織の追加 (Add Customer Organization)] ボタン	新しい顧客組織を追加するには、このボタンをクリックします。
[クラウド名] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。 このドロップダウンリストに表示されるオプションは、指定したアカウントタイプによって決定されます。
承認者と連絡先	

名称	説明
[第1レベル承認者 (First Level Approver(s))] フィールド	第1レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2レベル承認者 (Second Level Approver(s))] フィールド	第2レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェックボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービスリクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービスリクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。この VDC を使用した VM のプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー] フィールド	この VDC に関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メール。
ポリシー	
[システムポリシー] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるシステム ポリシーを選択します。
[コンピューティングポリシー] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるコンピューティングポリシーを選択します。

名称	説明
[ネットワークポリシー] ドロップダウンリスト	VDC に適用できるネットワーク ポリシーを選択します。
[ストレージポリシー] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるストレージ ポリシーを選択します。
[ISOイメージマッピングポリシー (ISO Image Mapping Policy)] ドロップダウンリスト	VDC に適用する ISO イメージのマッピング ポリシーを選択します。
[コストモデル] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるコスト モデルを選択します。
[サービスリクエストサマリーと電子メールページへのコストの表示を無効化] チェックボックス	この VDC の SR サマリーと電子メール ページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー] ドロップダウン リスト	VM のプロビジョニング後のオーケストレーション ワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。 選択されたワークフローは、VDC 内の VM に対するアクション ボタンとして表示されます。
[ストレージの効率性の有効化] チェックボックス	RCU を使用して VM を複製する場合は、チェックボックスをオンにします。 このオプションを使用できるのは一部の vDC タイプのみです。
[非アクティブなVMを削除するまでの期間] ドロップダウン リスト	非アクティブな VM を削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。 非アクティブ状態の VM とは、電源がオンの状態ではない VM です。 (注) この選択項目が想定どおりに機能するためには、[管理]>[システム] で [高度なコントロール] タブの下にある [VDC ポリシーに基づいて非アクティブな VM を削除する] チェックボックスがオンになっていることを確認します。 詳細については、「高度なコントロールの有効化」を参照してください。

名称	説明
エンド ユーザ セルフサービス ポリシー	<p>vDCのセルフサービスポリシーを選択します。このポリシーによって、VDCで実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、作成するVDCに対応するアカウントタイプに関連するポリシーが表示されません。</p> <p>vDCへのポリシーの割り当ては、ユーザがvDCで実行するタスクを制御できる唯一の方法です。従来のバージョンでは、vDCの作成中にタスクを有効または無効にしていました。最新リリースにアップグレードすると、以前に設定していた権限とオプションがvDCの名前を使用してエンド ユーザポリシーとして自動的にグループ化され、vDCに割り当てられます。</p>

ステップ 7 [保存] をクリックします。

仮想データセンターのアプリケーションカテゴリの管理

手順

- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー] > [仮想/ハイパーバイザポリシー] > [仮想データセンター] を選択します。
- ステップ 2** [すべてのユーザグループ] ペインで、VDC が含まれている VDC グループを選択します。
- ステップ 3** [VDC] タブを選択します。
- ステップ 4** メインの表示ペインで、編集する VDC を選択します。
- ステップ 5** [カテゴリの管理] をクリックします。
- ステップ 6** [アプリケーションカテゴリの編集] ダイアログボックスで、システム ポリシー、コンピューティング ポリシー、ネットワーク ポリシー、またはストレージ ポリシーをオプションで変更するために該当するフィールドをすべて編集します。コストモデルとスマート割り当てポリシーも変更できます。
- ステップ 7** [保存] をクリックします。

仮想データセンター サービス プロファイル

この機能は VDC の追加に似ていますが、[VDCサービスプロファイル] で作成される VDC はオーケストレーション ワークフローの中で使用されます。この機能を使用すると、ワークフロー タスク中の VDC 作成時に使用可能な、ゴールド、シルバー、およびブロンズ VDC を作成できます。

仮想データセンター サービス プロファイルの追加

手順

- ステップ 1** メニュー バーで、[ポリシー]>[仮想/ハイパーバイザポリシー]>[仮想データセンター] を選択します。
- ステップ 2** [vDCサービスプロファイル] タブを選択します。
- ステップ 3** [追加] (+) をクリックします。
- ステップ 4** [vDCサービスプロファイルの追加] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[vDCプロファイル名] フィールド	VDC プロファイルの名前。 名前は、入力した後では編集できません。
[ロック済みのvDC] チェックボックス	今後の導入で VDC を使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。この VDC 内の既存の VM に対するアクションは無効になります。今後の導入で VDC を使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[vDCの説明] フィールド	VDC に固有の説明。
[グループ] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象グループを選択します。
[クラウド名] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。
承認者と連絡先	

名称	説明
[第1承認者のユーザ名] フィールド	第1レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2承認担当者のユーザ名] フィールド	第2レベルでサービスリクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)]をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェックボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービスリクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービスリクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。このVDCを使用したVMのプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー] フィールド	このVDCに関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メール。
ポリシー	
[システムポリシー] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるシステム ポリシーを選択します。
[コンピューティングポリシー] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるコンピューティング ポリシーを選択します。

名称	説明
[ネットワークポリシー] ドロップダウンリスト	VDC サービス プロファイルに適用できるネットワーク ポリシーを選択します。
[ストレージポリシー] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるストレージ ポリシーを選択します。
[コストモデル] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるコスト モデルを選択します。
[サービスリクエストサマリーと電子メールページへのコストの表示を無効化] チェックボックス	この VDC のサービス リクエスト サマリーと電子メールページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー] ドロップダウン リスト	VM のプロビジョニング後のオーケストレーション ワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。 選択されたワークフローは、VDC 内の VM に対するアクション ボタンとして表示されます。
エンドユーザセルフサービス オプション	
[VMの電力管理] チェックボックス	この VDC に属している VM に対してすべての VM 電源管理アクションを実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[VM のサイズ変更] チェックボックス	この VDC に属している VM に対して VM サイズ変更アクションを実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[VMスナップショット管理] チェックボックス	この VDC の VM に対してすべてのストレージスナップショットアクションを実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[VMの削除] チェックボックス	この VDC の VM に対して VM 削除アクションを実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[VMディスク管理] チェックボックス	この VDC の VM に対して VM ディスク管理を実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。

名称	説明
[VMネットワーク管理] チェックボックス	このVDCに属しているVMに対してネットワーク管理を実行できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[非アクティブなVMを削除するまでの期間] ドロップダウンリスト	非アクティブなVMを削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態のVMとは、電源がオンの状態ではないVMです。

ステップ 5 [追加] をクリックします。
